

# 小・中PTA連協、子育連との意見交換会 会議録

日 時：平成30年12月1日（土）19：00～20：30

場 所：町民プラザ 講義室

出席者：PTA関係11名、子育連2名、議会議員12名、事務局2名 計27名

千代田町小中PTA連絡協議会（11名）

千代田西小学校PTA

会 長 春 田 昌 幸  
副 会 長 熊 木 純 一  
副 会 長 田 村 友 輔

千代田東小学校PTA

会 長 竹 内 恵 治  
副 会 長 南 室 透  
副 会 長 尾 花 美奈子

千代田中学校PTA

会 長 今 泉 整  
副 会 長 増 田 和 弘  
副 会 長 岡 戸 裕 明  
副 会 長 高 橋 正 勝  
副 会 長 吉 永 充

千代田町子ども会育成会連絡協議会（2名）

会 長 高 橋 朋 義  
副 会 長 高 橋 美樹也  
副 会 長 田 口 ルミ子（欠席）  
副 会 長 家 中 理 恵（欠席）

千代田町議会（12名）

議 長 高 橋 祐 二  
副 議 長 川 田 延 明  
議 員 青 木 國 生  
議 員 細 田 芳 雄  
議 員 柿 沼 英 己  
議 員 小 林 正 明  
議 員 襟 川 仁 志  
議 員 森 雅 哉  
議 員 大 谷 純 一  
議 員 橋 本 和 之  
議 員 酒 卷 広 明  
議 員 大 澤 成 樹

千代田町議会事務局（2名）

局 長 田 村 恵 子  
職 員 荒 井 美 香

- 
1. 司 会 橋本議員
  2. 挨拶 高橋議長  
春田会長  
高橋会長
  3. 意見交換 座長：高橋議長

## ① 子育て世代について

大澤議員：子育て連より放課後未来塾が良いということだが、どのへんが良いのか聞かせていただきたい。H29年度より始まり、H30年度本格的に4月から始まった事業で、東西の小学校において週1回実施され、文化祭においても教室で作った作品が展示されていた。

子育て連 高橋副会長：親目線の意見で、親が勉強といってもしないが未来塾ができ、子ども同士で話し合い参加し、自主的勉強をしている。

大澤議員：放課後未来塾は両方がまじっており、小学校が放課後子ども教室、中学校が千代田未来塾になる。

子育て連 高橋副会長：千代田未来塾です。親が迎えに来る時間が忙しいため、見守る人がいるところで、時間を過ごし勉強ができることがよいという意見です。

大澤議員：町として行ってほしい事業で、小学校の放課後子ども教室は、1年生から、6年生まで、異年交流もでき同じ学年の子だけでなく、いろいろな交流ができ、中学校の未来塾も、家庭学習が身につけていない子も見られる中、いっしょに行く事で、家庭学習を身に付けられれば、学力の向上にもつながるだろう。子育て連の皆様から良い事業と言ってもらえる。今後町としても会議を持ちながら継続していける方向に、議会としても進めていきたい。

高橋議長：放課後こども塾、未来塾、常任委委員会で千葉へ視察研修に行った。そこで実施しており、議会で協議し、千代田町も直ぐに始めたほうが良いと、町へ提言して始まった経緯があります。視察に行くと、千代田町より優れた町がたくさんあり、実際に行き話を聞き千代田町に取入れようと、議会も勉強している。

東小吉永副会長：未来塾の参加、利用状況を教えてほしい。

川田副議長：放課後子ども教室が、東小13名、西小15名、H29年度の状況です。未来塾は全体で10名程度です。最近のデータは把握していない。昨年度になります。放課後子ども教室は週に1回。東小木曜日、西小火曜日、子どもの放課後の居場所、学習する機会、家で勉強ができにくい、学習することが身につく。

森議員：役場の町長、課長とこのような話を持つ機会がある。その時に要望等話をして、町長はどう考えているのかと聞く機会がある。今日の話を聞くことがあり、直ぐに変わる等ではな

いが、皆さんにまた確認等となる場合もあるが、話を聞きたい。終了時間の延長についてですが、どれくらい延長したほうがいいのか聞きたい。

P T A春田会長：児童館は5時30分、子どもを向かえに行くにはきつい。仕事が5時15分に終わり、直ぐに行ける人ばかりではない。学童に関しては、6時30分になっているのである程度大丈夫だが、収容人数が多く、小4で学童に預けたいと相談したが、収容人数が多く、1年生が非常に多いため無理と言われた。短期でも入れたいと言ったが、短期でも100人ぐらいで無理、増設したがそれでも無理。今のスペース、先生の人数もきついと言われて厳しい状況を言われたが、しょうがないですねと伝えた。今までは緊急な時は、1日5000円で引き受けてくれるという事だったが、次年度からなくなり、本当の緊急でないで預けることはできないということです。子育て世代の親たちは何でと思っている。他の方も同じようなことを言われた。先生が何でそんなことを言うのだろうと思っている。東小についてはわからないが。

柿沼議員：待機待ちが実際にできてしまったという事については、学童保育の法律は変わり、希望すれば6年まで居られる、待機待ちが発生したということでご迷惑をおかけしている。議会としても、今後行政に要望して増設成りし収容し希望者に応えられるような方法に議会として答えられるようにしていきたい。担当の委員会ではないが、委員会でも取り上げてもらいたいと思う。

大谷議員：質問したい。学童ですが、想像、夫婦共働き、祖父母がいないと子どもがかぎっ子になってしまう。昔は夫婦共働き、証明書を出すという事だったと思う。うちは祖父母がいるため、学童に入ったことがない。この中で祖父母がいるから大丈夫という方はどのくらいいますか。その他はかぎっ子になってしまう。

千中P T A高橋副会長：嫁の親がいるので、特に預けたりしないでやってきた。嫁もパートです。

P T A春田会長：祖母がいるが年も年なので、病院通いが多いため学童にお願いしていた。自分がひとり親のため母親がいない。それでも出されてしまうのはどうなのか。西の方に聞くと旦那がいないので学童に預けているが、年が年なのでダメという事を聞いている。預けられれば残業もでき稼げていいのかなと言っている。預けたほうが助かる。

東小吉永副会長：保育園に2人預けていた。保育園の時間は6時30分。いつも最後共働きで6時30分位延長も必要なのかな。学童も同じで、フルタイムで働いている人はぎりぎりになってしまう。東小で4年生まで学童に置かせていただいて、5年生から家に帰っても大丈夫ということで学童(?)を利用した。必要な家庭はたくさんある。6時30分という決まりが、いろいろな仕事があり定時の人、時間に融通がつかない人、考えていただければ助かる。

東小PTA尾花副会長：パートで働いています。祖父母が近くにいないので、子ども達は児童館に通っている。ランドセルを背負ったまま児童館に行けるのはありがたい。大泉は、家に帰り置いてから児童館へ行くと聞いた。児童館は5時30分まで、職場は正社員になると、5時15分のため、大泉から5時15分で5時30分に迎えは厳しいため、正社員にはなれない。5時45分、6時までぐらいに児童館が延長してもらえれば働ける。

高橋議長：常任委員会で執行部としっかり協議してやって行く。保育園・幼稚園については、待機児童は0。千代田町は自慢できる所と町が側も行っている所です。保育園・幼稚園だけでなく、学童・児童館もしっかり町の方で動いてもらい、安心して働けるように思っている。議会で協議していく。

## ② 教育環境の整備について

子育連高橋副会長：月曜日が図書館とプラザが休みのため、勉強するところがない。大泉とかは、町の公民館があり、自由に勉強ができる。見てきた。自主的に勉強をしに来ている。見守っている人もいる。千代田町はないので特に夏休み、休みが長いとき全部月曜日が休みのためどこですか。

リーダーを増やしてほしい。スキルアップにつながることや、指導者を育てる意識。今子育連でリーダーがいない。人数が決まっており、がんばって残っている人をお願いしており、10年してくれている人もいる。人数がいないため、残ってもらっている。リーダーが一人もいない。リーダーがやっていた分を、メンバーで補っており、人数が足りない状態。リーダーをどのようにやってくれるのか、中学生に声をかけてみたが、リーダーをやってもメリットがない。ボランティアに目を向けている子はいるが、プラザとかのスポット的なことは力を貸してくれるが、リーダーは組織になりメリットがないという意見。私も昔リーダーをしており、教育指導者の免許を取らせてもらった。初級、中級、上級があり、1年以上で初級。3年以上で中級。5年以上で上級が取れる。上級は全国試験場所がちがう。たまたま妙義で私も上級を取らせてもらった。先生の目も違うので免許を取って、自分のスキルアップにつながるという事を中学生のうちから育て発信していくとリーダーが育つのかと思う。

町で親子参加型のイベントを増やしてほしい。今ちよスポが行われているが、参加者が少ない。スポーツ推進委員と話時期が悪いのではないかとということ、時期を考えれば人数が集まる、楽しく子ども達がスポーツをするのか、ちよスポに入りたいのか、境界線になっていると思う。子育連の意見は、子ども達がスポーツに目を向け楽しませればちがうのではないかと。今現在スポーツ離れがおきており文化部に向いている。中学生は今、部活は1

0人、10人以上になるとじゃんけんになる。小学生から野球をしてきた子が野球部に入るためには、10名超えているため、じゃんけん負け入れないのが現状です。校長ともはなしたが打開策がでてこない。くじ引きか、じゃんけんかどれも同じです。プロ野球選手になろうと夢をもってやってきた子がじゃんけん負け離れて行く。考えなくてはならない。文化部に流れ、スポーツ離れを防ぐために楽しいイベントを町で対策したほうがよい。

西小PTA熊木副会長：町の広報でリユース事業をすると拝見させていただいた。体育着や備品、できるだけ広域で同じものを使う事で価格を抑えたり、リユースで数が集まりやすくなったり、小中すぐに大きくなり着られなくなってしまふ。リユース事業を進めて行くのなら広域で同一規格ならば数もサイズも集まりやすくなり、対応に大きい数が集まり価格も安くなると思ひ提案した。

大谷議員：体操着について、中学校の役員に聞きたい。私の子が小学生の時に、中学に行くと何十万もかかるから用意しておくように言われた。自転車・制服・カバン・体操着が何万で刺繍が入っている。20万円くらいかかるのか。12月の説明会で4月にかかると言われ親がビックリする。かつかつで生活している方が多いので、もう少し早くわかったら方がよい。中学校でお金のかかることが改善され、またお金がかかる体操着が必要なのか。高いというイメージがある。現状の認識はどうか。

千中PTA増田副会長：お金のかからない体操着があるのか。これを買ってくださいというので買う。  
お金のかからない体操着があるのか。

大谷議員：私の中学生時と比べ大変高くなっている。

千中PTA増田副会長：自分で払っていないのでわからないが、親が払ったので

大谷議員：私は自分で買いに行った。そのころからすると、質はいいが単価が上がっている。体育館の靴がいつの間にか運動するような靴になってしまった。

千中PTA増田副会長：子供たちの安全性を考えてあのような靴になった。私はそれはそれでよいと思う。

大谷議員：体操着も名入り等お金をかけているが、もう少し低所得者に合わせたような公立中学なので、単価を下げた内容でいいと思う。

千中PTA高橋副会長：単価がいくらになってというところで、例えば町から補助ができればいいと思う。その中で単価がいくらかを、業者と町で話をしてもらい安く抑えたほうがいい。

東小吉永副会長：買う側はこれが指定ですといわれる。それを買うのには、これだけかかるので用意せざるをえない。それを安くするのは親側より、学校側。この体操着と決めているのは、PTAでもないし。

大谷議員：PTAから学校に要望することはできないのか。

東小吉永副会長：今までそのようなことはないです。安くしてくださいという事も聞いたことがない。

千中PTA高橋副会長：安くなってくれる分にはありがたい。

東小吉永副会長：自転車・制服・体操着は洗い替えを買わなくてはいけないので2、3枚になる。まとまったお金がでてくる。安ければ助かる。知り合いの家の体操着のおさがりをもらい名前を書き換え使う。皆さんがしている。

千中PTA高橋副会長：幼稚園ごろから、知り合い等にもらっている。であれば教科書も義務教育であるので、補助で全額出してもらった方が助かる。私の家は子どもが4人兄弟で高1、中1、小5、教科書代が、春と夏2回くる。3人いっぺんにくる。その辺も含め補助とか考えていただければ助かる。

柿沼議員：先日、神奈川県のある学校のテレビを見た。学校ぐるみで、PTA、先生とデザインを含めメーカーが提案し、それをみんなで協議し決めた。値段・デザインを納得の上で安くなったと言っていた。そのような方向もすぐに実現ではなく、今後の課題として取り組んでいったらいいと思う。

東小吉永副会長：前に話した、パートから正社員になれない、つながっていくと思う。すべてのところでお金がかかる。正社員になりたいが、時間が短いのでかなわない。トータルして考え、子育てしやすい町として行かないと難しい。ひとつひとつ解決も大事だが、トータル的に見ていくことも必要。

高橋議長：吉永さんの意見その通りだと思う。議会も取り組んでいく。月曜日に図書館・プラザが休みということで、常任委員長の見聞を聞きたい。

川田副議長：行政関係の窓口が月曜日が休みになり、子どもの居場所がすべてなくなってしまうということは、何か考えなくてはならないと思う。この件については教育委員会とも話し合ってみたい。今の高い・安い話、着るものについては業者がこの中から選んでくださいとなると思う。町としても産業祭でもランドセル、制服のリユース事業を実施しており、考えている。私達のころはおさがりですませた時代があった。成長期で1年間、半年で成長してしまう。その辺リユースできるように全体で考え家だけでなく考えていければと思う。一番気になったことは、部活の問題です。プロ野球選手を目指している子がじゃんけんで、入れない。びっくりした。もう一度聞かせてほしい。

千中PTA今泉会長：ここ何年かは、10人以上になったらじゃんけんになっている。特に吹奏楽部に人気があり、他の部活にまんべんなく、じゃんけんになっている。

川田議員：吹奏楽部については、楽器の数等あると思うので、その辺どのように町の方が考えているかわかりませんが、調査してみたいと思います。

高橋議長：親子参加型のイベントを増やしてほしいという意見があるので、学童野球に携わっている酒巻議員に聞きたい。

酒巻議員：現在2月にちよスポが開催される。今年度のフェスティバルは、来年の2月9日か10日の日曜日午前中予定。目的は、今千代田町のちよスポは、大人向けの教室がヨガ教室、ムーブストレッチ、吹き矢などがある。その会員を増やすという事が目的になっている。開催月を2月としているのは、第1回目に主催をしたときに、ちよだスポーツ少年団に声をかけないで町単独で開催し、参加者が少なかった。ぜひ、子どものいる親に参加してもらいスポーツフェスティバルにしたい。なぜ2月か、運動系の野球等年間を通して1番大会が少ない2月を選んだ。県も2月に開催している。親子参加型、子どもの参加も考え、時期も検討している段階です。曜日、時間帯を考えている状況です。これからもちよスポの会議でみんなと話し合いにより良いものにしていきたい。

リーダーを増やすことは、人材を育てることいいこと。スポーツ少年団にかかわっているので、リーダーを目指すのであれば小学校のうちからスポーツをしてください。スポーツ少年団に入ると、リーダー研修があります。各県で行っており群馬県は前橋の赤城少年自然の家で2泊3日、3泊4日、リーダー研修があり、次世代を担う、スポーツ以外で心を鍛える。その延長でリーダーズクラブに入る方もあるのかなと思う。個人的な要望になるが、野球、スポーツをやっていただき、リーダー研修を受けていただくことがいいのかと思う。

高橋議長：教育環境の整備も議会で協議したいと思う。

### ③ 安心安全について

子育連高橋副会長：怪我に対して学校の初期動作が悪い。一般の親からで学校で頭から出血し、学校からは頭から血が出ているのですぐ迎えに来てくださいと連絡があった。迎えに行くより、病院ではないか。医者に見せてもらいたいという意見です。

アレルギー対策、給食にアレルギーの子が多い。幼稚園から小学校、幼稚園の時はアレルギー対策をしてくれた。その子だけのメニューを作ってくれた。小学校に行ったら親に今日はこのような献立ですので、自分のうちの子は、アレルギーを含まないもので作ってくださいと言われ、毎日お昼を学校へ届けていた。見た目は同じで親が毎日献立をみながら作らなくてはいけないのかという疑問がでていた。

登下校について、西の子の親、新福寺、大泉に近い子ども、小学校に来るのに、朝は親が通勤で乗せて来るのでよいが、帰りにどこも寄り道せず真っ暗になってから、帰ってくるので心配。遠方の方は、スクールバスのような、拾ってこられ、送り届けてもらえるよう

な近くでもよいが、送ってきてもらえるような手段があれば安心して学校に行ける。という意見があった。

西小PTA春田会長：通学道路の整備、新福寺からくる道があぶない。新しい道を作ると聞いているが、交通量が増えると子ども達も危ない。安全性がどうなのか。ガードレールの設置など。通学時間に車が入らないようになってくれると、車のスピードが速いとびっくりし危ない、大人が見ていても危ないというシーンがある。スクールゾーンには、時間を入れてもらえればと思う。高校生の通学手段は、充実してもらえれば。地域の高齢者の方との交流をかねて、見守りしてもらえれば親たちの負担も減る。祖父母との交流が子供たちにも増える。

東小PTA竹内会長：旗当番、子ども達の登下校に必要なと思うが、共働きの世代が多くなってきており、遅刻、早退してくるのは難しくなっている。地域により、子どもの数が少なくなり、2か月に1度回ってくる。その辺を地域の老人の協力できる方々にお願ひできれば、私達世代も助かる。検討していただくと助かる。

高橋議長：安心安全について、よその町では、2・3時になると、高齢者の方がいるのかというくらいいっぱいになる。千代田町も事件が起きると心配になりしばらくたつと、忘れてしまうのではないかと。子供たちの下校が始まると、地域の人が出てきてほしいと思っている。議会としても、高齢者に働きかけられるようにしていきたい。新福寺のスクールバスについて、小林議員お願いします。

小林議員：怪我に対し学校の初期動作が悪い・・・その通りだと思う。先般、ある勉強会に出席していたら、ヘリの音がした。結果として中学2年生の男子に緊急性があり、ドクターヘリで前橋の病院に収容した。夕方退院した。学校側も高橋副会長の言っていることにつながると思う、緊急の時はドクターヘリで運ぶと判断したと思う。良い対応の事例で今後委員会の中でも町側に確認をさせていただく。

新福寺、千代田の西の方、その奥があり、西で北。大泉町との境になる。大泉南小学校に行った方が近いが千代田町です。議員になってまがないころスクールバスの質問をした。住宅密集地が分かれているため、スクールバスは考えていない。経費が掛かるので財政上できないという回答。西小のPTAの方が署名をだし、町に提案したこともあった。費用のことを解決することはできない。今後部分的に、どこを優先するのか、皆さんの意見として伝えていければと思う。通学パトロール、西地区の父兄が通学上の道路に駐車して見守る。現実見ているだけで、何かあった時には手が出せない状況。時間が取ればパトロールに出られる仕組み、仕掛けが出来ればと考えます。

東小吉永副会長：中学校と、小学校の会合の時に提案をさせていただいた。勤めがちよだCOMハウスです。千代田の中にデイサービスがあり、車が放課後の下校時間と重なるときが多いの

で、民間のところに協力を得て、ステッカーをはり、パトロールするだけでも抑止力になる。職員に対してもこの時間子どもが帰る時間なので、充分注意しながら見ていただきお願いするのもいいのではないか。瀬戸井に緑の風、ちよだCOMハウス、安心ケア等のデイサービスがあるので協力する。他の宅配便の業者との連携が取れていければ、町中を回っている車があるのでいいのかと思う。

東小南室副会長：瀬戸井、東小2年生です。登下校一斉の時はいいが、ほとんどの子が児童館、学童に行っている。通学路の中に一人だけ帰る子がいる。通学路のところに会社があるので。遠くから田んぼの中を一人ぼっちで帰ってくる。誰かがいてやればいいのにと思っている。老人会の方等に立っていただくという事などを考えていただければと思う。

大澤議員：見守りの件ですが、議員の中にも登録されている方がいる。町民プラザの防犯ボランティア、広報紙等で募集をしており人数が集まらない。大泉町のように何時にどこに立ってくださという仕組みができていない。防犯ボランティアという、帽子とジャンパーを貸与してもらい、私も赤岩で何回か活動させてもらった。毎日同じ時間に同じ場所に立つのが難しい。もう少し、ボランティアを増やしながらしっかりした仕組みが作れば、田んぼの中を一人であるっている子、暗い夜道を一人であるっている子がないようになってくるのかと思う。議員の中でも活動している方もいるので皆さんに知っていただきともに活動できればと思う。

酒巻議員：見守りということで、群馬県のステッカー青いステッカーを張りながら仕事をしています。抑止力いいのかと思う。石川県だと思うがドラレコ隊、ドライブレコーダーを搭載している車が増えてきている一般の方と、町、警察と連携し何かの時には、ドライブレコーダーを活用し、町の方へサポートするよう訴えていきたい。

通学路に関して、通学に距離がネックになる。福祉バスが町も走っているので、これを併用して使えないかと言ったら、教育委員長が福祉と教育という部分で違うという事でバスは使えないと回答をいただいた。何かないかと調べたら、秋田県の方にシェアするという事で、マイカーをシェアするという事で、近くの方がそれぞれ連絡を取り合いシェアしあって、名前は忘れたがシェアタクシー・バスで活動している地域もある。町と町民とが連携を計り勉強しながら、通学の安心安全について考えていきたいと思う。

小林議員：西の話ばかりで、東の方に申し訳ない。新福寺、中島・福島からの1本道、中島の信号から西小まで1.5キロはないが、その間に防犯カメラを計3台設置した。誰か不審者がいた時救う手だてがない。防犯カメラは抑止効果になる。皆さんからも防犯カメラが必要な場所を教えてください。図書館・学校・プラザにはついた。教育委員会に確認するとかなりついた。山屋記念図書館になかったが、その後予算を用意していただきつけてもらっ

た。図書館は不特定多数の方が自由に出入りしている。受け身になるので不安があったが、監視している、監視されているので安心感が生まれた。都市計画道路、西の方から赤岩新福寺線、石田食堂のところに入る、来年の3月末をもち開通するということ、中島・新福寺・福島、通行規制、通学路の変更がおこるのか。子供が交通事故にあってはいけない。避けて通らないで、少しでも解決できればと思います。

#### ④ その他

高橋議長：その他ですが、育成会より一般の親に聞いたほうがリアルな意見があるのでアンケートを取ったほうがよいのではないかと。という意見がありましたが、今回の意見交換は生の声を聞いて意義があった。アンケートも大事だが、機会があれば聞かせていただきたい。通学路に防犯カメラがついた。防犯カメラがついたからいいという問題ではないが、地域の方との見守りが大事だと思う。よその町を見習い、千代田町も老人会、高齢者の方と子ども達をしっかりと見守っていただければと思う。

最後になりますが、何かありますか。

子育連高橋副会長：各地区の親が意見を子育連に言ってくる。先生にはいえないが代弁として言っているため、伝わりにくいところもある。今後何か拾い上げることがあればという思いです。